

全日本還暦軟式野球連盟主催大会 大会規則

ZKR-26-006

適用規則 当該年度、公認野球規則、競技者必携及び本大会規則を適用する。

- 大会規則
- (1) 試合はトーナメント方式で7回戦とする。
同点の場合は、決勝戦を除き抽選とする。
 - ・ 決勝戦は一死満塁で特別延長戦を実施する。打順は前回の継続とし、走者は前回の最終打者を一塁走者、その前打者が二塁走者、前々打者が三塁走者となる。
 - ・ 特別延長戦は決着がつくまで実施し勝敗を決する。
 - ・ 全日本3大会以外は時間制限(110分)を設定することができる。
但し、5回終了までは試合を行い、試合を成立させること。
詳細は大会細則を参照のこと。
 - (2) 5回以降7点差以上生じた場合は、コールドゲームとする。
 - (3) 投手板と本塁間は16.3m, 塁間は25mとする。
 - (4) 大会使用球は、還暦はナガセケンコーボールM球、古希はマルエスM球とする。
 - (5) スパイクのデザイン・カラーは自由とする。
 - (6) ユニフォームは、同色・同意匠のもので、企業の宣伝に資するものを入れてはならない。
 - 2) パンツは自由とする。
 - (7) 不正出場等の規則違反に対しては、全日本還暦軟式野球連盟規約第8条により処理する。
 - (8) 参加申し込み後の選手の変更、追加、背番号の変更は認めない。
 - (9) 正当な理由なくして途中棄権してはならない。もし、その事実があった場合には、その事由の如何を問わず当該チーム並びに所属ブロック・所属連盟もペナルティの対象とする。
 - (10) サングラスの使用は認める。但し、投手はミラーレンズサングラスの使用はできない。
 - (11) 臨時代走は打者が頭部他に死球を受けた場合、又は打者走者が守備選手と衝突負傷した場合に限り認めるが、自己負傷した時に代走を出す場合には選手交代とする。
 - (12) DHを採用10人制とする。
 - a) DHは守備には就けないが打順は自由で代打代走も送れる。
 - b) 先発のDHは相手投手が交代しない限り一度は打席に立たなければ

ばならない。

c) 守備についた選手はDHにはなれない。

d) メンバー交換時にDHの有無を選択できるが以降の変更はできない。

(13) 申告敬遠を採用する。

(14) 投手の12秒及び20秒ルールは採用しない。

表 彰	優 勝	賞状、優勝旗（持ち回り）、メダル
	準優勝	賞状、準優勝旗又は盾又はカップ（持ち回り）、メダル
	第3位	賞状
	個人賞	最優秀選手賞、敢闘賞、打撃賞、勝利監督賞 （決勝戦出場チームより主催者が選出する。） * 個人賞のうち、打撃賞は準決勝戦・決勝戦の2試合における成績が5打席以上とし、最優秀選手賞、敢闘賞以外の選手とする。但し、該当者が同率で複数の場合には打点数上位者、次に塁打数上位者の順で決定する。 * 優勝、準優勝チームに授与するメダル及び個人賞は主管地で準備する。

その他 出場チームは必ずスポーツ保険に加入し、各自健康保険情報が把握できるものを持参すること。

大会期間中の傷病については、大会本部は応急手当までとし、それ以降は当該チームまたは選手個人の負担とする。

以 上